

6.11
土

ともだちづくりツアー
デイキャンプ in 琴引ビレッジ
山荘キャンプ場

町内5つの公民館で組織する「ともだちづくりツアー実行委員会」主催の若者交流イベントが開催されました。参加者はテントを張り、火を起こした後、焚き火でホットサンドなどのキャンプ飯を作りました。食後はターゲットバードゴルフ（パドミントンの羽をつけたゴルフボールを打つスポーツ）やキャッチボールを楽しみました。

ともだちづくりツアーは、町内の若者同士のつながりづくりを目的に、今年度、イベントを3回開催予定。
2回目：10月8日（土）
3回目：11月12日（土）



当日は7人が参加し、交流を深めました



協力して作った料理の味は格別です

※イベントの詳細や申込みは各公民館にお問い合わせください。
ともだちづくりツアー実行委員会
公式LINE（イベントの情報が発信されています）



6.12
日

初夏を彩る60万本のポピー
ポピー祭

東三瓶フラワーバレーのイベント広場で、3年振りにポピー祭が開催されました。

新型コロナウイルス感染症の影響で、ステージイベントや飲食ブースはありませんでしたが、まちの特産品が当たる特別抽選会が行われました。抽選会場横のブースでは「志津見湖フォトコンテスト」の写真が展示されました。

当日は天候に恵まれ、町内外から多くの来場者が訪れ、色とりどりに咲くポピーを撮影するなどして賑わいました。



一面に咲き誇るポピー

6.18
土

平和への願いを込めて
1000日目の鐘が鳴り響く

赤名にある西蔵寺で、ウクライナの平和を願い、参拝者が鐘を鳴らす行事が行われました。

鐘を鳴らし始めて1000日目となる今回は、地元住民などが参拝。14時（ウクライナの7時に、戦争の早期終息と「ウクライナに平和の朝が訪れるように」との願いを込めて鐘を鳴らしました。

この行事は、今年の3月11日から毎日継続。今後は、月に1回行われる予定です。



「平和の鐘」が鳴り響く

6.18
土

ものづくりに挑戦
レジンアクセサリーと
竹弓矢をつくらう

赤名小学校の児童を対象に、赤名公民館主催のものづくり教室が開催されました。

雲南市在住で、林業活用イベントなどを企画・運営する松木海さん（かき）を講師に迎え、紫外線に反応して固まる樹脂を利用した「レジンアクセサリー」と、「竹弓矢」を作りました。

参加した児童は、細かい作業や、普段あまり使うことのない道具での作業に苦戦しましたが、友達や保護者と協力して完成させました。



完成した弓矢で的を狙います

6.26
日

飯南町長杯争奪
ゲートボール大会

琴引ビレッジ屋内ゲートボール場を会場に、第17回目となるゲートボール大会が開催されました。

8チームが、2つのコートに分かれ4チームごとのリーグ戦と、順位決定戦を行いました。参加者はチームで協力し、笑顔でプレーを楽しんでいました。

主催者の飯南町ゲートボール協会加瀬部会長は「コロナ禍ではあるが開催できてよかった。皆さん、健康に気を付けて、何歳になってもプレーしてほしい」と話していました。



優勝した志津見Aチームの皆さん

6.23
木

全国とつながる
ご当地健康体操

益田市吉田公民館主催の「全国ご当地健康体操」が、上赤名向谷会館で行われました。

北は北海道から南は九州まで、全国16カ所の会場に集まった参加者が、オンラインでつながりました。

参加者は、各市町の説明を聞いた後、各地のご当地健康体操を全員で行いました。

普段から飯南町で行われている「長生き体操」とは一味違う体操で、参加者は楽しんで体を動かしていました。



向谷自治会の住民7人が参加

6.27
月

いっしょにやん人つなぎ基金
事業認定書贈呈式

いっしょにやん人つなぎ基金事業認定書が、飯南町国道54号活性化アクションプラン推進協議会の作野広和会長から「小田真木若者の会」に贈呈されました。

小田真木若者の会は、旧小田小学校校庭にイルミネーションや、鯉のぼりを設置するイベントなどを通じて、地域づくりに取り組んでいます。

同会の奥野匠さんは「これからも細く長く活動を継続し、地域の皆さんに喜んでもらえれば」と話していました。



今回の認定で14団体目